

2014/2/27 理事会承認

2014年度(平成26年度)

事業計画書



公益財団法人キープ協会

目次

公益財団法人キープ協会の公益事業と収益事業	2
<hr/>	
公益Ⅰ. 環境教育事業	3
1.環境教育＝やまねミュージアム・フォレストアーツスクール	
2.山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター(指定管理事業)	
3.環境省・日光国立公園	
那須平成の森・那須高原ビジターセンター運営管理業務	
4.環境研究所＝環境教育研究	
5.地域との環境教育事業	
公益Ⅱ. 酪農事業	5
公益Ⅲ. 研修交流事業	6
・清泉寮・キープ自然学校・ポール・ラッシュ記念センター	
公益Ⅳ. 国際地域事業	7
公益Ⅴ. 保育事業	9
・清里聖ヨハネ保育園	
<hr/>	
収益Ⅰ. 製販事業	10
収益Ⅱ. ホテル事業	12
<hr/>	
本部・企画部	13

■公益財団法人キープ協会の公益事業

(清里エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動
- (3) ヤマネ生態調査
- (4) やまねミュージアムおよび八ヶ岳自然ふれあいセンター（施設展示）

(那須エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動

(清里エリア・公2) 高冷地での農業生産および地域農産物の高付加価値化に関する事業

- (1) 高冷地農業の研究開発
- (2) 酪農後継者の育成

(清里エリア・公3) 青少年および家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動・講習・研修活動・合宿活動に関する事業

- (1) 自然体験。酪農体験活動
- (2) 青少年育成活動
- (3) 植物療法セミナー
- (4) ポール・ラッシュ記念センター（施設展示）

(清里エリア・公4) 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業

- (1) 国際親善
- (2) 開発途上国への開発協力
- (3) 地域活性化の研究・相談・助言

(清里エリア・公5) 幼児の育成と子育てに関する事業

- (1) 乳幼児育成
- (2) 自然体験活動

■公益財団法人キープ協会の収益事業

(清里エリア・収1) 自家製食品および地域特産品等の普及・販売等に関する事業

- (1) 売店・レストラン

(清里エリア・収2) 宿泊設備を使ったホテル営業

- (2) ホテル営業

公益 I. 環境教育事業

1. 環境教育

子どもからシニア世代までを対象とした「教育」とヤマネの総合的な「研究」を両輪として、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働を通して、持続可能な社会実現に寄与します。

(1) キープ・フォレスターズ・スクール

① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

環境教育プログラムの提供（主催事業・受託事業）、環境教育プログラムの研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

② 2014 年度の重点目標

総合的な環境教育の推進と環境教育実践の整理及び教材化

③ 主催事業（「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施）

指導者養成事業、やまね学校、清里エコロジーキャンプなど

④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、指導者養成事業、CSR 事業、講演等

⑤ 指導教育

職員教育、実習生トレーニング、研修生・インターンの受入れ

(2) やまねミュージアム

① キープやまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、研究成果を活かした環境教育・環境保全策の普及

② 2014 年度の重点目標

ヤマネ研究成果の総括（論文等）と展示への活用ならびに社会貢献への応用

③ 2014 年度の事業計画

ヤマネの総合的な研究の推進、ヤマネの受託調査、ヤマネ保護と環境保全研究の提案、研究成果を活かした環境教育の普及、「やまねミュージアム」の管理運営、アニマルパスウェイの国内外への普及と開発、老朽化する建物の維持・管理・補修

2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

山梨県及び八ヶ岳地域の環境教育センターとなることを目指し、第3期指定管理業務を担当します。

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献する。

(2) 2014 年度のテーマ＝地域

(3) 事業内容

プログラムの開発と実践、施設内外での展示、年度テーマに即した事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理

3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」および「那須高原ビジターセンター」運営管理業務

第1期（仮称）の3ヶ年を終了し、2014年度より第2期（仮称）として新たな3ヶ年の管理運営業務を担当します。

(1) 那須平成の森（フィールドセンター）

①2014年度の重点目標

2014年度から3ヶ年をかけ、自然体験に関する教材等を制作することを目標とする
初年度の2014年度は、企画立案の年と位置付ける

②事業内容

フィールドセンター運営、「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）、「自然解説指導者養成講座」（人材育成研修）の実施（ビジターセンターを併用）、屋内外の展示制作、公園の環境管理、「那須平成の森基金」の事務局運営。

(2) 那須高原ビジターセンター

①2014年度の重点目標

那須町および近隣地域（那須甲子地域）との連携をさらに強化する

②事業内容

ビジターセンター運営

4. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

(1) 環境保全研究（やまねミュージアムが担います）

(2) 環境教育研究

環境教育実践の整理・研究・発表、キープ協会全体の教育活動の整理・研究、指導教育に関する研究

5. 地域との環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

(1) 事業内容

地域の教育機関、福祉機関への協力、地域住民への環境教育、構成員としての関わり、地域内各種ネットワークへの参画

公益Ⅱ．酪農事業

1. 牛乳生産量

有機JASの認証を継続し、安心・安全な牛乳の生産を目指します。

2014年度	牛乳出荷量	平均搾乳頭数	48頭	217,000kg	(前年比 109%)
2013年度	牛乳出荷量	平均搾乳頭数	55頭	198,366kg	(見込み)

2. 酪農教育の推進

年度を通して酪農体験を実施します。

- (1) 事前申し込みによる、個人・ご家族のお客様、清泉寮・キャンプ場・自然学校宿泊のお客様、環境教育事業部にて酪農体験を申込みされたお客様等を対象に、酪農体験を通して農場が行っている環境共生型酪農や有機JASを軸に、食育・動物との触れ合い・命の大切さ等をお客様に理解して頂けるように努力します。
- (2) GW・夏季にはキープファームショップ前にて「酪農体験広場」を実施します。体験内容は、搾乳体験・バター作り体験・ヘイライドを実施します。事前申し込みなしで体験可能ですので、体験されるお客様の年齢は様々です。
- (3) その他に、夏季など実習生(中学生・高校生・大学生等)を受け入れ、日常管理の指導や職員と一緒に現場で働くことにより学びの場になっています。

2014年度 12,000,000円(前年比121%)

2013年度 9,900,000円(見込み)

3. 環境共生型酪農の実践

環境に優しく牛を管理するにあたって、牛から排泄された糞尿を堆肥化し、秋・春に採草地、放牧地に散布し農薬などの化学肥料を散布せずに、牧草の成長を促します。

また、各事業部で出た野菜くずなどの生ごみや、カンティフェアなどで使用された非木材紙もゴミとして排出せず、堆肥に混ぜることにより不要なゴミを削減します。

4. 農場の景観の保全

現在、キープ協会には数多くの牧柵がありますがほとんどが整備されていないので、新しい牧柵のペンキ塗りや見栄えの悪い牧柵の塗り直し、破損した牧柵の修繕・拡大を行い、農場が中心に他部署からの協力を得ながら、KEEP for the Futureの「いちばん美しい農場」の先駆けにしてきます。

公益Ⅲ. 研修交流事業

1. 清泉寮

本来のポール・ラッシュの目指した研修施設へ回帰してまいります。学校団体や教会関係・研修団体の利用促進を図るため、プログラムチームの編成や営業スタッフの育成などを行います。

食育面ではより安全で地産地消に力を入れた、地元にも貢献できるものを目指します。地元への対応は、広く地域貢献を行えるように積極的に関わってまいります。本館の利用年限の延長に伴い、お客様に安全に利用していただけるよう、安全対策や快適な環境提供の為の修繕を行ってまいります。なお、併せて将来の本館の活用方法と別館建替えの検討も行います。

2. 自然学校

団体専用施設であることを特色として、学校や養護施設・保育関係に特に力を入れてまいります。継続して森のようちえん等の主催プログラムを実施するため、スタッフの充実を図ります。食育というポイントにも引き続き焦点を当てて参ります。

3. ポール・ラッシュ記念センター

収蔵している資料・美術品の保管保存管理の体制を作り、キープのスタッフの教育機関としての機能、対外的な対応も行ってまいります。魅力的な企画展を実施するとともに、アメリカンフットボールの殿堂も有意義にコラボレーションさせ、集客をはかってまいります。

公益Ⅳ． 国際地域事業

公益財団法人としての全体最適と各部との連携・協力を前提に、キープ清里キャンプ場を拠点に、次の事業に取り組みます。

- 1 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業
- 2 様々な主体との協働による地域社会の活性化とスポーツ振興に関する事業
- 3 青少年及び家族とそのコミュニティを対象にした、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動、講習・研修活動、合宿活動に関する事業

1 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業

- (1) キープ協会が1988年以来取り組んできましたフィリピン農山村援助交流事業、通称ツルガオ・プロジェクトの発展形で、ツルガオ周辺地域を対象に構想されたタイトス・プロジェクトのうち、スマデルでの灌漑トンネル建設プロジェクトの支援・協力を2013年度に計画しましたが、事業資金の目途が立たず実行に至っておりませんので、継続して事業資金の確保に取り組みます。また、ポール・ラッシュの会とキープ日本後援会の協力を得て、青少年対象の奨学金プログラムを継続します。
- (2) 国土緑化推進機構の助成によるフィリピン・ベンゲット州トゥバでの森林再生と森林保全文化形成事業を、現地NGOの協力を得て、2014年6月に完了させます。
- (3) 2013年度に開始された日比米聖公会三教区青年交流プロジェクトは、2014年はフィリピンにおいて実施されます。横浜教区主導のもと、比・米の参加教区とのコミュニケーション等に協力し、2年目事業の実施に寄与します。
- (4) 米国のBerea College、Wellesley College、フランスのEcole Centrale de Lille、WYSE ILPの参加者から実習希望が寄せられています。それぞれ受入条件の精査を要しますが、基本的には受け入れて、米国聖公会から派遣されたYASCボランティアと共に青少年も対象にした所謂「グローバル人材」育成プログラムの確立を目標におき、海外からの実習生との協働により確立します。
- (5) フィリピン山岳地帯での環境教育普及事業等で長年に渡り協働してきたNGO“Cordillera Green Network”からプログラム・スタッフを招聘し、地域住民・青少年を対象にした「国際×環境プログラム」を企画・実施します。前項と併せ、キープ協会の教育的国際交流事業の確立を目指します。

2 様々な主体との協働による地域社会の活性化とスポーツ振興に関する事業

- (1) 北杜市国際交流委員会の米国ケンタッキー州マディソン郡との姉妹地域交流事業に協力します。

- ①北杜市からの訪問団の事前研修、コーディネート業務および随行(4~5月)
- ②マディソン郡から来日する中学生のホームステイ交流事業(7~8月)
- ③マディソン郡からの代表団の受け入れ(10月予定)
- (2) ポール・ラッシュの会との連携による地域活性化事業に取り組みます。
 - ①域学連携等の補助事業による大学生のインターン受入
 - ②ボランティア活動のフィールド提供および当該活動の運営
- (3) ポール・ラッシュ祭や地域連携のイベント等を通じて、地元をはじめ県内の若者世代との関係が芽生えました。清里・KEEPを、「遊びに行く場所」ではなく「社会的な活動の場所」として多くの若者が集まってくる場所になるよう協働関係を育てていきたいと思えます。
 - ①地域の若者企画によるイベント等の会場提供および運営協力
 - ②海外からの実習生等との交流プログラム

3 青少年及び家族とそのコミュニティを対象にした、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動、講習・研修活動、合宿活動に関する事業

- (1) 学校・教会等主催のキャンプ、環境教育事業部主催キャンプ、酪農事業部の酪農体験・食育体験等
- (2) 北杜市環境保全基金に応募、食・農・環境等をテーマにした映画の自主上映会を継続します。
- (3) 2年前より酪農事業部の協力を得て、有機農法による実験農園を試行してきました。それらを実習プログラムに位置づけ、また、利用者の体験プログラム、食材調達として継続します。

公益Ⅴ．保育事業（清里聖ヨハネ保育園）

キリスト教精神に基づく「一人ひとりの子どもたちを祝福する保育」を保育目標に、いつも神様の存在を近くに感じ、すべての命を尊び多様性を認め、他者と共に平和な社会を築いてゆくことができる人になることを願い、子どもたち一人ひとりが持っている感性を大切に育みながら、家庭的な温もりを大切に、心身共に健やかに成長することを願って保育事業を進めてまいります。

1. 異年齢児保育の継続・推進
2. 自然学校・キープ森のようちえんプロジェクトとの連携
3. 安全・安心な食事の提供と実践
4. 園内研修による保育の質の向上
5. 保護者や地域の方々と共に育ちあえる場作り
6. 新園舎建設プロジェクトの完成

収益Ⅰ．製販事業

製販事業部は、キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、中長期計画 KEEP for the future 2013 に則った様々な収益事業により、収益の確保を図ります。

また、「いちばん美しい農場 (MBF: Most Beautiful Farm)」プロジェクトを推進し、酪農事業部との連携による「生産・収穫—加工・製造—販売・消費」一貫体制の早期実現を目指します。

1. 2014 年度重点業務

(1) 清泉寮ジャージーハットの建て替えへ向けた準備と体制作り

- ① 6次産業化による農業振興
- ② 魅力ある商品開発
- ③ 地域への貢献

(2) キープ内容客単価を向上させるためにお客様の滞在時間延長を図る

- ① 店舗間連携による複数店舗の利用促進
- ② 居心地の良い環境・空間の整備
- ③ 購買意欲を増加させる運営および接客

(3) お客様から共感を得るための職員教育

- ① キープの一員としての意識向上
- ② 接客・サービス研修
- ③ あらゆる商品知識の習得
- ④ 取り巻く環境の変化に対応できる体制作り

(4) キープの魅力の情報発信による集客

- ① インターネットを利用した情報発信
- ② 店頭サインによる情報発信
- ③ 各種メディアを利用した情報発信

2. 通常業務

(1) 店舗運営 (清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮セレクトショップ・清泉寮パン工房・キープファームショップ)

(2) 通信販売およびネット販売

(3) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売

- (4) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (5) 飲食業においては「人と地球の健康」をキーワードとしたメニュー展開
- (6) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (7) ホームページを利用した情報発信
- (8) 店舗周辺環境美化およびガーデン管理
- (9) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (10) 業務の効率化によるコスト削減
- (11) 外注に頼らないことによるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

3. 出張販売

- (1) 出張販売については、昨今の販売状況を考慮し、収益の期待できる催事のみならず、効率的な出店を図ります。
- (2) 県内ショッピングセンターへの出店により、年間を通して安定的な収入の確保を図ります。

収益Ⅱ．ホテル事業

1. 清泉寮の宿泊研修施設を利用して、一般の宿泊客などを受け入れます。また宿泊だけではなく、立寄りでのレストランのご利用も受け入れます。
 - (1) 食育をメインテーマに、安心できる食材を手作りにこだわって提供します。
 - (2) クオリティを重視し、他の施設との競合を避け施設の特色を出します。

本部・企画部

KEEP for the Future 2013（キープ新5か年計画）の実現に向け、本部内に企画部を新設、下記の業務に取り組んでまいります。

1. 中長期計画の進捗管理業務

- (1) 中長期経営計画の計画立案
- (2) 新規事業の企画立案
- (3) 内外一般情勢のマーケティング（研究調査）
- (4) 組織及び運営の改善、合理化の研究・提言

2. 企画調整・広報業務

- (1) プロジェクトの進捗管理に関する業務
- (2) 広聴広報・ホームページ管理などに関する業務
- (3) 協会総合案内パンフ、キープだよりなどの作成と発信業務
- (4) 顧客名簿の管理等に関する業務

3. 職員教育訓練業務

- (1) CS（顧客満足）向上のための教育訓練の実施

4. FD（募金推進）業務

- (1) 国内募金に関する業務
- (2) Friends of KEEP 会員獲得活動および会員管理業務

5. 本部一体となって取り組む業務

- (1) 本館での案内業務
- (2) 繁忙期における各事業部支援

